

ときわ交配

◆適作型 4月～8月上旬播き 普通～抑制露地栽培

新発売

なっしる

◆耐病性

ウドンコ病、カッパン病、ウィルス病 (ZYMV) に耐病性があり、ベト病にも比較的強い。栽培後半まで樹が維持しやすく安定した栽培が行える。

◆草姿

葉色はやや淡緑色の中葉、草勢は強く、側枝、孫枝ともによく発生する。節間長は中位で間伸びしにくい。

◆雌花着生

主枝雌花率は、4月～5月播きで55～65%前後、6月～7月播きで30～40%前後。側枝は、2節連続着果率が高い。各節1～2果成りとなる。

◆果実

果長は主枝で20～21cm、側枝は22～23cm。低温期でも果形は肩こけ少なく安定した果形となる。果色は鮮緑色でテリがある。

◆収量性

草勢と果実肥大のバランスが良く、最後まで安定した収量となり、多収を望むことができる。

◆栽培のポイント

- ★子枝は1～2節止めとし、孫枝以降から半放任とする。主枝雌花開花が始まる頃より積極的に灌水を行う。また収穫始め頃より追肥を始め、その後も遅れないように行う。
- ★果実肥大が早く、初期より収量性が高いため、元肥はやや多めに施す。
- ★台木は、「ぞっこん」「ときわGT-II」が適する。

草勢と果実肥大のバランス良く
初期より高い収量性と安定した果形で
高成績を実現！



“作る”を感動に変える、おいしさを届けて60年。

株式会社 **ときわ研究場**